

「自分の失敗が最高の先生」と語る ドイツ・フランケンの新世代

ツヴァイナチュールキNDER
2 Naturkinder



歴史あるワイン産地ほど、ナチュラルワインが根づくのが難しいが、ミックとメラニーは、周りとの共存を目指し、やがてその実力が認められた。

(注) この説明は、ヴィンテージ 2016 のもの。2017 は、赤はマセラシオンカルボニックなし、白はノー・スキンコンタクト。

ツヴァイナチュールキNDERの〈フレデー・マウス (独語でコウモリ)〉に出会ったとき、お堅いイメージのドイツにも、こんな楽しいワインがあるんだとうれしくなった。赤は、ピノムニエのセミマセラシオンカルボニック、白はミュラー・トゥルガウとシルヴァナーのスキンコンタクトで攻めている^(注)。

造り手は、ロンドンやニューヨークの科学系出版社で、マーケティングやデジタルコンテンツの営業をしていたミヒヤエル (愛称ミヒヤ)・フォーカーとメラニー・ドレセの夫婦。

彼らのワインに対するイメージをガラリと変えたのは、2012年、ふと出会った仏ロワールのバスカル・シモニュッティの〈ボワール・テュ〉。「ファンキーなワインだけど、エネルギーにあふれていた。SO₂無添加、ノンフィルターで、葡萄の全てが凝縮されているのだと気づき、それからはナチュラルワイン中毒に」。そしてナチュラルワインを造ってみようと思ったのだ。というのも、ミヒヤの実家は、フランケン地方のキッツィンゲン村に1843年創業のワイナリー“ベルンハルト・フォーカー”。畑も醸造所もある。しかし……父は原産地名委員会重鎮 (アペラシオン認定する立場の人)、ナチュラルワインなど、ワインと認めていなかった。長年の顧客もいる。ナ

フレデー・マウス・
ヴァイス 2017
Fledermaus weiß 2017
ミュラー・トゥルガウ 70%、
シルヴァナー 30% のブレンドの、
ライトでフレッシュな味わい。
危険なぐらい飲みやすい。



ハイマツ・シルヴァナー 2016
Heimat Silvaner 2016

耕すのが困難なほど急斜面に植わる樹齢約 40 年のシルヴァナーの凝縮感とパランス感をもれなく表現。

ワイン造りは、人生の一部、もう望むものはなにもないという二人。趣味はと聞くと「5歳の息子の成長を見守ること」とのこと。



チュラルワインに転換するなど論外だが、父は、息子に期待を掛けている。決別すれば、ミヒヤとメラニーの新規事業も立ちゆかなくなるわけで……と悩んだ結果、父の醸造所は手伝いつつ、自分たちのブランド〈ツヴァイナチュールキNDER〉を立ち上げることとなった。2016年には、昔ながらの顧客を、ナチュラルワインにつなげるための新しいブランド〈ファーター・ウント・ゾーン (父と息子)〉も始めた。ナチュラルワインではないが、自然発酵、フィルターはごく軽く、SO₂も 20 mg/l 以下だ。

6haの畑は、現在は全て有機栽培。地元のコンサルタントに相談したり、海外のフェアで出会う仲間たちにインスパイアされたりして学んできたが、一番の師匠は、「自分の失敗」だという。「失敗のパターンをみて、ヴィンテージごとに比べ、微調整を重ねる。何より大切なのは、土壌は生きている、我々人間と同じ生き物、有機物だということを忘れないこと。最初は、有機栽培って機械をそろえるのに、すごくお金がかかると思ってたんだ。でも、仲間たちと話したり、福岡正信の『わら一本の革命』なんかの本を読むと、全然、考えているのと違ったよ。僕はいま、毎日生きている土壌の力に驚いている」。



バックス・ベツナツ 2017
Bacchus Pet-Nat 2017

スーパーフルーティなバックスを瓶内二次発酵後、軽くデゴルジュマン。軽い飲みながら余韻はシリアス。

アイテム数は毎年少しずつ形を変えながら増えている。たとえばフランケン地方ならではの土壌“コイパー (泥灰岩)”で育った古木のシルヴァナーを使った〈ハイマツ (独語でお家)〉は、ヴィンテージ (葡萄の状態) ごとにスキンコンタクトの日数や熟成期間が変わり、2年半熟成させた2015ヴィンテージが、2016ヴィンテージの後にリリースされた。

〈フレデー・マウス〉以外にも、ベツナツの〈バツ・ナツ〉など、随所に暗号のように登場するコウモリについても、少し説明を。ミヒヤは、地元で“コウモリ・ヒーロー”と呼ばれるクリスチャン・ズーダと共に、コウモリの保護活動をしている。近くにコウモリのコロニーがあり、彼らの糞の堆積物を、葡萄畑の肥料として使う代わりに、保護団体に寄付をしたり、知名度を高める活動をしているのだ。〈フレデー・マウス〉に使うミュラー・トゥルガウの畑には、ちょうどコウモリが休むのにちょうどよい小屋があることから、仲間から譲ってもらったそう。畑には、愛すべきコウモリたちがリラックスできるお休み用の箱がいくつも設置されている。ちなみに〈フレデー・マウス〉のラベルに描かれたコウモリは、「gray long eared bat」という非常に珍しい種類だそう。

D A T A

2 Naturkinder
<http://2naturkinder.de/>
輸入取扱: CROSS WINES